

I'm Professional.



ロータス東海の ちいらしっこ通信



2024年1月号

今月のちよこい話

思い出のかたち

ぼたん、ぼたん。静かな部屋に響く雨漏りの水音。天井には広く歪に水が滲み、それを受け止める大きなたらいにはもうすでにたくさんの雨水が溜まつている。落ちてくる水滴が、次から次へと水面に波紋を描く。私の祖母は築百年を越す木造平屋に一人で暮らしている。広い敷地には古い茶室や枯れた池があり、昔はとも立派なお屋敷だったそう。しかし百年の歳月を経て修繕ができない程に劣化や破損が進み、家屋の倒壊を心配する親族の説得を受け、渋々祖母は生家であるその家を手放す決断をした。家族で久々に祖母の家を訪れた。「最後になるかもしれないから。」と祖母に誘われ、雨の中心で敷地内を散歩することになった。「子供の頃は、この離れのお茶室にお琴の先生をよんでお教室を開いていたんですよ。」ぼつり、ぼつりと祖母は話し出す。「このびわの木は私が植えたんですよ。もう切られてしまふんやね。」年末になるとおとうちゃんといっしょにお餅をついたんですよ。「この土間でおかあちゃんが竈に火を入れるのをいつも隣で見ていた

んよ。」皺だらけの小さな手で祖母は愛おしそうに優しく家を撫でる。子供時代からの山の思い出の詰まる大切なこの家を手放し、更地になったこの場所を祖母はどんな気持ちで見つめるのだろうか。私は祖母の言葉に頷くだけで精一杯だった。人は思い出だけで生きていけない。古いものは朽ちていく。家も、人も。私は祖母のおとうちゃんにもおかあちゃんにもなれないし、この家を直すこともできない。しかし祖母のこれからの時間に寄り添い、新しい日々の思い出と一緒に作ることはできる。写真を撮ろう。家もお茶室も、びわの木も土間も、全て私が写真に残そう。そしてそれを見ながら、これから祖母とたくさんのお話を聞きたい。祖母の話をきくと聞きたい。遠くの部屋から、優しく切ない水音が聞こえる。

私はカメラを手に取り、立ち上がる。



【頭の体操:今月のなぞなぞ】①憂鬱しい夜に出てくるタイマーってなあに? ②1000回スイッチを入れると出てくるものってなあに? ③シカはシカでもお金でお金を作るシカってなあに? ④オチチが2匹

ロータス昭和クラブ 手動式窓(パワーウィンドウ)



昭和の時代には当たり前だったのに今では見なくなってしまう装備が数多くあります。このコーナーではそんな装備を振り返ってみます。

今では、パワーウィンドウのボタンを押すだけで開く自動車の窓。しかも運転席にはたいていすべての窓を操作するボタンがついているので、ドライバーが後部座席の窓を開けることも簡単です。ところが、昔の自動車は手動で窓を開けていました。各ドアに付いているハンドル(レギュレーターハンドル)をくるくると回して窓を上下させていたのです。

手動で窓を開けるにあたって特に大変だったのは、高速道路の料金所。当時はETCなどなかったため、現金で支払う必要がありました。料金所では、窓を開けて、料金所の係員と通行料のやり取りをします。運転席が右側にある国産車ならまだいいのですが、外車などの、左ハンドル車にひとりで乗っていると、助手席に手を伸ばして、レギュレーターハンドルをくるくると回して窓を開けてからお金を渡すという、ちよつと間抜けに映る光景がよく見られたものです。なかには、マジックハンドを使う人もいました。

ロータスクラブはCO2削減に取組んでいます



わかちちゃんの

世界の調味料

バルサミコ酢はイタリアのモデナ地方で生まれました。通常、トレッピアーノとランゴの葡萄を使用し、収穫後すぐに搾汁した葡萄ジュースを大きな銅製の釜に入れ、弱火で煮詰めます。煮詰めた果汁を酢醸で熟成させます。特殊な木樽で行われ、長い年月をかけて酢に変化します。バルサミコと呼ばれる木樽に移し替え、最低でも12年以上、一部は25年以上という長期間の熟成が行われる過程で、深い味わいとコクが生まれます。熟成が終わると、マスターブレンダーによって厳選され、異なる年数のバルサミコ酢を組み合わせて味や香りを調和させ、専用の瓶に詰められ、パッケージングされます。分類された品質に合わせてラベルが付けれ、最高品質のものは「トラディツィオナーレ」と称され、その下に「アフイナート」や「ヴェッキオ」といったランクが存在します。

バルサミコ酢は、サラダやチーズ、肉料理、ドレッシング、デザートなど様々な料理との相性が良いとされ、例えば、カプレーゼや焼き野菜に垂らしたり、ステーキやローストに絡めたりすることで、料理の味を引き立てます。バルサミコ酢には抗酸化作用があり、体内の酸化を抑える効果があります。また、消化の促進や血糖値の上昇を緩やかにする効果もあります。適量で摂取することで、健康へのプラスになるとされています。



まりーちゃんの

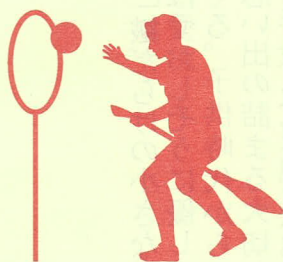
君も日本代表に!?

クイデイツチ(クアドボール) クイデイツチとは、小説「ハリーポッター」に登場する魔法世界のスポーツ。ほうきで空を自由に飛び、小さなボールを追いかける競技として登場しています。

現実世界において人間が空を飛ぶことは不可能であり、空を自由に動き回るようなボールも存在しません。しかし、魔法世界で人気のクイデイツチを現実世界でも楽しもうという人が世界各国でクイデイツチをプレーしています。空を飛ぶことはできませんが、現実のクイデイツチも物語同様、ほうきに跨って走り回るといいます。

ハリーポッターの作者がイギリス人であることから、イギリスが発祥地であると思われるのですが、実際は、アメリカのバーモント州に住む学生が始めたとされています。

日本での競技人口は200名ほどと言われている、誕生当初からかなりマイナーなスポーツでしたが、アメリカやヨーロッパ諸国で少しずつ競技者が増加し、今や世界40か国以上でプレーされています。



ちかちゃんの

平安時代の暮らし

文字 平安時代には漢字や仮名などの文字が発展し、日本の文字の使用が大きく進みました。漢字は中国から伝わった表意文字で、政治や文化の文書に広く使われました。漢字は学問や文学、宗教の文書でも頻繁に利用され、貴族や公家たちの間で重要なコミュニケーション手段となりました。

仮名も平安時代に発展しました。仮名は女性や一般の人々の間で広まり、音を表すために使用されました。平仮名と片仮名の2つの文字があり、平仮名は主に日本語の文書に、片仮名は外来語や音読みの表記に使われました。

平安時代には様々な文化的要素が文字に取り入れられました。和歌や漢詩などの詩形式は文字を通じて広まり、文字と絵画を組み合わせた絵巻物も重要なメディアとして発展しました。

文字の使用は社会の階層によって使い分けられ、文化の発展とともに洗練されました。文字は知識の伝達手段として重要であり、政治や文学、芸術の発展に大きく貢献しました。これらの文字の使用は、日本の文化や歴史の理解に不可欠な要素となっています。



We are Professional. ロータスクラブ加盟店

(株) 東海自動車

〒036-8061 青森県弘前市神田1-5-4

TEL: 0172-33-7700

FAX: 0172-32-7171

発行人: 福士 幹規

第2・4日曜日・祝日も元気に営業中です!!

「め〜コーヒーまだ飲みにきてね〜人はえぐ来いへ〜」

特典いっぱい「友の会」会員募集中です。

マイカーリースも好評受付中!!

営業時間 8:30~17:30

定休日: 第1・3・5の日曜日はお休み